

イズミル経済大学への協定留学 9月

留学にあたって、教務学生室の方々、教授、同大学への留学経験のある先輩方、様々な方に協力いただいて到着することができました。ここで感謝を伝えたいのと、留学を検討している学生さんの参考になるよう、留学前に心配だったこと、質問したこと、実際どうだったのか幾つか列挙していこうと思います。

● フライトについて

とにかく費用を抑えながらも、トランジットで観光も楽しみたかったのでtrip.comでセントレアから、中国、イスタン布尔でトランジット、そしてイズミルに到着する便を選択しました。費用は総額5.5万ほどでした。

● 寄について

入寮希望者が多すぎた為、入寮できないとの通知を受け、8月中旬から家探しをしなければならないことが発覚しました。

招待メールが届き、what's upというアプリの、他の留学生たちとのグループチャットに入ることになるのですが、そこでルームシェアできる人を募りました。現在は、ドイツ人とオーストリア人の子と住んでいます。

Facebookで物件や、ルームメイトを探したという人も聞きました。

● 服について

先輩からのアドバイスを受け、冬服メインで1週間分ほど持っていました。ダウンと、冬は雨が降りやすいようなので頑丈な折りたたみ傘を持っていました。夏服は、tシャツ4枚ぐらいで十分ですし、現地でゲットするのもいいと思います。9月始まりの留学だと、夏物セールのタイミングなのでチャンスです。トルコブランドの服を着て楽しむのもいいと思います。



Istanbul

トランジットで1泊し、旧市街と新市街を観光しました。駅から徒歩10分のホテルをとりましたが、着くまでの道はでこぼこで更に非常に急な坂道でした。約半年分の荷物が入ったキャリーケースを運ぶのは苦行で、汗はすごいわ腕は痛いわで散々でした。ケチらずタクシーを使うか、駅近のホテルにした方が良かったと心の底から後悔しました。以下の順で回りました。

①タクシム広場

路面電車の線路を挟み、レストランや雑貨屋さん、アクセサリーショップ、アパレルなど様々な店が並び、特に、雑貨屋さんのショーウィンドウがとても素敵で見てるだけで楽しかったです。

②ガラタ塔を眺める

登らなくても充分良さそうでした。

③ブルーモスクへ行く

イスラム教モスクなので、女性は髪の毛が見えないように布を被って入場します。貸し出してくれるので、そこは心配無いです。また、体のラインが見え無い方が好ましいので、露出度の高い服装は控えた方が良さそうです。

モスク内は、ステンドグラス、半球形の天井、柱、緻密な模様が施されていて、長い間見入ってしまいました。

前期の講義の、美術史（西洋）1で、サファードや回廊などの用語を学んだり、モスクについてレポートを書いたりしていたのでよりその凄さが体感できたと思います。



Istanbul

④道端で会った人と一緒に観光

1人で来たので自撮りをしていたら、フィリピン人のお姉さんが声をかけてくれて話が弾み、そのまま一緒に周辺を散策することになりました。

トルコに来た理由が歯科治療だそうで、傷口を隠すためのマスクに、サングラス、GUCCIのキャップとかなりイカつい見た目で、話すのは楽しいけど大丈夫かな？とも少々心配でしたがとても愉快な人でした。何が魅力的かと言うと、少しでも気になると、周りの人に聞くのでとても学びになるところです。

敷居が高そうな店にも億さず入っていって、何で作られてるか、生産地はどこか聞き込み、長話をして何も買わずに出ていくので、これもまた大丈夫か？とも思いましたが、その間に私は、ハンドメイドのバックや絨毯をじっくり鑑賞できて嬉しかったです。

またモスクの近くに必ずと言って良いほど水道が流れしており、それも彼女が聞いて分かったことですが、ムスリムの人々はモスクで礼拝する前に、水で手足を洗い、体を清めるようです。

私だけだったら、そこに疑問を感じたり、人に聞いたりしようと思えなかつたので貴重な体験でしたし、そのような視点や行動力も見習いたいと思いました。

今月はイスタンブールの話だけになってしまいましたが、イズミルに着いてからも留学生たちとエフェソスやビーチに行ったり、個人としてもコナックのタワーやご当地モスクを徘徊したりと充実した時間を過ごしていました。

講義について触れたいですが、その前に、履修登録が非常に大変で、まる2日程、私を含め留学生たちは、色々な機関に連絡したり、訪れたり、友人に助けて貰ったりでやっと準備が完了した次第です。来月また講義内容は、お伝えしたいと思います。

